抱樸館を支える会
会報 41号
2020年５月１日 発行:抱樸館を支える会

抱撲館熊本の「一日」
～職員・入居者の皆さんに話を伺いました～

抱樸館熊本は２０１３年６月に準備室を立ち上げ、熊本県と熊本市からシェルター事業を受託してきました。２０１８年１２月には無料低額宿泊所を開所し、名称も「抱樸館熊本準備室」から「抱樸館熊本」と改めました。

抱樸館福岡や抱樸館北九州のように自前の建物ではなく、熊本市内にあるマンションの部屋（入居者用の部屋が１８室、事務所・食堂・相談室・談話室が４室、合計２２室）を借上げて運営し、これまで約３００人が利用されています。

今回、抱撲館熊本の職員や入居者の皆さんに話を伺ってきました。

――抱樸館熊本の一日を教えて下さい。

７：３０～　朝食

起床の時間は特に決まっていません。早い人は５時頃から起きています。

食堂の冷蔵庫にあらかじめ食材が入っていますので、それぞれ自分で作って食べていただきます。パンやごはん、納豆など様々ですが、手軽なパン食が人気のようです。

８：３０～　職員ミーティング

対人支援は突発的な対応が頻繁に起きるので、職員のスケジュールや情報の共有はとても重要です。抱樸館は２４時間３６５日稼働していますので、夜勤のスタッフから夜間の状況を引継ぎ、その後、職員間で当日の予定などを話し合います。

８：３０～　清掃

入居者の皆さんで一斉に清掃を行ないます。自分の居室については自身で掃除をしてもらい、食堂や談話室、相談室などの共用のスペースについては、入居者全員で手分けして協力しながら清掃を行ないます。

９：００～　朝礼

毎日、職員と入居者が食堂に集まって、朝礼を行ないます。朝礼では職員、入居者それぞれの一日の予定を報告します。

入居者の予定も様々で、就職活動、行政への手続き、相談員との相談事項などを伝え、予定の調整を行ないます。

１０：００～　退居者の引越し

取材当日は偶然にも退居者Ａさんの引越しと重なっていました。

抱樸館熊本から新居への引越しの見送りは、職員や他の入居者とみんなで行ないます。

顔なじみの人がいなくなるのは少し寂しい思

いはありますが、みんなで退居者Ａさんの新しい門出を笑顔で見送りました。

新居に到着した時はあいにくの雨模様で、雨に打たれながら荷物を新居へ運びましたが、Ａさんは新しい生活に向けて、その足取りはとても軽いように感じました。

１２：００～　昼食

昼食と夕食は厨房スタッフが一人で作ります。全てが手づくりで、入居者からは「とても、おいしい」と評判です。

１３：００～　相談室での面談

入居者との面談は相談室で行ないます。面談内容は、入居から退居に向けた支援計画の相談、就職やその後の退居手続きの説明など多岐に渡ります。

面談が終わった後の入居者に抱樸館熊本の様子について話を伺いました。

――部屋はどうなっていますか。

「ワンルームになっています。他の入居者に聞いたら、部屋によって多少間取りが違うようです。キッチン、風呂、トイレも付いています」

「住むところが無くなってこちらにお世話になりましたが、こんなに広い部屋で過ごすことができるとは思っていませんでした。お風呂は共用ではないので、一人でゆっくりと入ることができます」

――お部屋での過ごし方を教えて下さい。

「相談員の方と話し合った今後の計画について考えたり、求人誌を見ながら仕事探しを行なっています。他の入居者の勧めがきっかけで最近写経を始めたのですが、やってみると、集中できるし、心が落ち着きます」

１８：００～　夕食

昼食、夕食ともに共用の食堂で食べます。入居者の中には、仕事をしている方もいるので、夕食の時間は様々です。

シェルターの責任者の松本さんにも話を伺いました。

――入居者にはどのように抱樸館で過ごしてほしいと考えていますか。

「現在、抱樸館熊本では、２０代から８０代まで、幅広い年齢層の方が入居されています。入居に至った経緯は様々で、いろいろな方がいますが、抱樸館熊本で共同生活を営む中で『お互いを認め合いながら』『自分は一人ではない』と思ってもらえるように過ごして欲しいと考えています。また、アットホームな雰囲気の中で心休まる場所として過ごしてもらえるよう心がけています」

――最後に、今後、抱樸館熊本でやりたいことなどがありましたら教えて下さい。

「これまで抱樸館熊本内でのイベントとして、クリスマス会を行なったり、お正月におせちを振る舞ったりしました。今後、料理教室をやってみたいです。入居者を始め、卒業生にも参加してほしいですね。料理教室に来てもらうことで、自炊の練習になりますし、参加者同士のつながりもできます。また、自炊をすることで、健康を保つことにも繋がりますし、お金の節約にもなります。まさに良いことだらけですね」

「その他、抱樸館熊本の談話室を地域の方にも開放し、サロン的な運用をしたいと考えています。様々な人と交流を深め、いま以上に地域とも繋がりが持てるようにしていきたいです」

――ありがとうございました。

『美味しくなぁれ』と想いを込めて

～厨房スタッフの「宮部久子さん」に話しを伺いました～

抱樸館熊本の入居者へ食事を提供する宮部久子さんに話を伺いました。昭和１２年生まれの８３歳。とても明るく元気で、笑顔が印象的な方でした。そんな宮部さんの健康の秘訣は、やはりバランスの良い食事と適度な運動で、毎朝のラジオ体操が日課だそうです。

――食事は一人で作っているそうですね。

「そうですね。だいたい入居者は常時１０人前後ぐらいだから、一人で作っています。その時のメニューにもよりますが、大体２時間ほどで作り終えます」

――食事を一人でつくるのは大変ですね。日々のメニューはどのようにして決めていますか。

「私自身がもともとご飯をつくることが大好きだから、この仕事が大変とは全く感じません。抱樸館熊本では、食材の買出しなどは別のスタッフにお願いしています。日々のメニューは、その日の冷蔵庫の材料を確認して、何がつくれるかを考えてつくります。入居者のみんなから『今日のご飯は何？』と聞かれ、『今日は○○よ』というやり取りも楽しみのひとつです」

――抱樸館の厨房スタッフになったきっかけを教えて下さい。

「抱樸館に来る前は、ヘルパーの事業所に登録し、そこで数年間仕事をしていました。その時にグリーンコープと縁があり、『誰かの役に立てるような仕事をしたい』という想いから、抱樸館熊本で働くことになりました。今もヘルパーとしての仕事を行ないながら、抱樸館熊本で週２～３回仕事をしています。仕事を始めて３年ですが、『今日はきついな』と思っても、職場に来て包丁を握ればシャンとなるものです」

――ご飯をつくるときに気をつけていることはありますか。

「ご飯は作り手の想いで美味しくなります。日々ご飯をつくるときは、楽しく、そして『美味しくなぁれ』と想いを込めながら料理をします。すると本当に美味しくなるんです。作り手の想いがないと食べる人にも伝わりませんよね」

取材当日の昼食はオムライスでした。（写真右）

入居者の方にお話しを伺うと「毎日のご飯がとっても美味しいです」と笑顔で答えてくださいました。

――入居者の方とは関わりはどのようなものですか。

「ご飯をつくるという役割もあって入居者の皆さんから『お母さん』と呼ばれることも多いです。最近、２０代の入居者から悩みの相談を受けました。話の中身をきちんと聞いて、その入居者がきちんと理解できるよう優しくアドバイスをしました」

「また、複雑な家庭環境で育った若い人たちには、時には母親のように接するようにもしています。そうすることで、相手の気持ちを受け止め、相手も本音で話しをすることができます。ちょっと前には、とても心が傷ついていた女性の入居者を抱きしめ、涙ながらに話を聞いたこともありました」

「私は、この仕事をしながら感謝の気持ちを忘れずにいることが大切だと思っています。今後もこれまでと同様に、感謝の気持ちと愛情を持って入居者との関わりを持ち、愛情を込めたご飯をずっと提供し続けていきたいです。身体が元気なうちは、みんなのお母さんとしてご飯を作り続けたいです」

――ありがとうございました。

抱樸館福岡の卒業生の退居時アンケートより

抱樸館福岡では、退居時に“新しい生活を始めるみなさまへ”「アンケート」をお願いし、「抱樸館福岡での生活はどうだったか」と「新しい生活に向けての抱負など」をお聞きしています。この１年の間に退居した人の「アンケート」をご紹介します。

Aさん（６０代の男性、２０１９年１２月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

色んな苦悩はありましたが すべて自分の為だと思い頑張りました。
今できることを一つ一つやってこれたと思っています。
又人の話を聞くことでささいなトラブルも少なくなる事を覚けさせてもらいました。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

無理なくマイペースで 今まで通りやって行こうと思います。

抱樸館福岡スタッフのコメント
持病を抱えながら、自分に出来る範囲のお仕事を探され、入居後すぐに就職されました。
現在もパートタイムで就労を続けておられます。
これからも無理をせず、頑張ってほしいと思っています。

Bさん（５０代の男性、２０１９年１２月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

最初は不安でしたが 少しづつなれてきて
話もあいてもできるようになり 充実した
生活がおくれました。

抱樸館のみなさま
みじかいあいだありがとうございます。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

またホームレスにもどらないように
充実した生活をおくります。

抱樸館福岡スタッフのコメント
長らく路上生活をされており、病気が見つかって抱樸館に入居されました。掃除を精力的に行ない、頼みごとをお願いするとすぐに快く応じていただきました。病気との付き合いはこれからも続きますので定期的に連絡を取り続けていきたいと思います。

Cさん（５０代の男性、２０１９年１０月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

担当相談員や抱樸館相談員の方々には、サポートして頂き感謝してます。
仕事等いままで団体行動の経験はありましたが 団体生活は初めてで
始め抱樸館での生活の不安や今後の生活の不安がありましたが それも解消
して頂いた上 団体生活の習慣や人の接し方を学ばせて頂きました
一部の不満を除けば感謝しかありません。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

今回生活を改め立ち直らせて頂いた事を大切に思い続け
同じ過ちを繰り返さず生活していきます。

抱樸館全職員に感謝します。本当にありがとうございました

抱樸館福岡スタッフのコメント
周りへの気遣いができ入居者からの信頼も厚い方でした。楽しいことが好きで大勢で楽しく過ごしているところをよく見かけましたが繊細な部分もありました。持病の治療などもあると思いますが今後も元気に過ごしてほしいです！

Dさん（７０代の男性、２０１９年１１月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

ホームレスを経験してやはり屋根付きフトンに寝る事はを当に有難がないと思っている。ある程度のソクバクはしかたがないと思う。自分自身集団生活は3度目だけど（創生園も含む）集団生活はを当に苦手。人にあわせるのあまり得意でない。人の長所を見ていればいいのかも知れないが。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

これから先自分自身でどう生きて行けば、見当が付かないけれど、健康に気を付けて、少しでもいい方向に前向きに生きて行くつもりです。むしの言い方も知れませんが末永く見まもってくれます様に御願いします。勝手事書いてすみません。

抱樸館福岡スタッフのコメント

笑ったり怒ったり、日々いろいろありながら、Dさんと出会って、３年が経ちました。集団が苦手とのことですが、そんな様子は見えず、いつも仲間を想い、人のために尽くされる姿は、本当に頭が下がります。
自然や動物を愛し、人情が厚いDさん。また、パステル画などであえる日を楽しみにしています。

Eさん（５０代の男性、２０１９年９月退居）

抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？

以前は大部屋で3ヶ月生活した事が有りますが、やはり個室はプライバシーが守られて良いと思いました。ただ、高令者、障害者の方と同じだと いろいろ気を使う事も多かったです。又食事も3食暖かいし、ごはんのおかわりも自由など最高でした。今後も是非続けていただきたいと思います。

新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど

今後はこのような生活にならないように、近くの好ねじに相談しながら、なるべく今の仕事を続けながら残り悔いのない人生を送りたいと思います。
入居者の掃除の件ですが、日曜日とか週に一回は休みを作ったらいかがでしょうか又、土曜日の日は消灯を23:00にするとか、それと夜勤者の方には時間を決めて見回りされたらいかがですか。
以前言った事がありますが!!　2019年　9月21日

抱樸館福岡スタッフのコメント

仕事について頑張っていた方でした。几帳面で生真面目なあまり、色々なことが気になって焦ってしまうような方でしたが、就職活動を頑張って仕事に就き、地域生活を取り戻しました。現在は仕事を変えれたと聞いています。
生活の変化がある度に、こまめに抱樸館に報告してこられます。元気でがんばっている様子がとても嬉しいです。また元気でお会いしたいですね。

抱樸館のおかげで次の目標を考えられるようになりました

～入居者の「長嶺順一さん」に話しを伺いました～

北九州市で生まれ育った長嶺順一さん（昭和２９年生まれで、現在６５歳）は、２０２０年２月に抱樸館熊本に入所されました。

――今までのお仕事のことを教えて下さい。

「大学を卒業後、大分の旅館に住み込みで働きました。旅館の住み込みといっても、社員寮のような感じでした。仕事の内容は、旅館のフロント業務を行っていました。『フロント業務』とひと口にいっても、様々な仕事があります。チェックイン・チェックアウト等の受付業務、旅館周りの清掃、宴会の準備等、様々でした」

――旅館の仕事一筋だったそうですね。

「同じ旅館ではなかったのですが、旅館は長い所で１０年前後働き、５～６件の旅館を転々としてきました。旅館の場所は大分県や熊本県の温泉地を渡り歩いていました。有名どころでいうと、熊本県の黒川温泉の旅館でも仕事をしていました」

――抱樸館熊本に入所したきっかけを教えて下さい。

「最後に勤めた旅館は、色々とあって退職することになりました。その時も、旅館に住み込みで仕事をしていたので、仕事を辞めることで住む所を失うことになりました。次の仕事を見つけるためにハローワークに通っていましたが、住まいが無いという問題もありハローワークを通じて自立相談支援事業所を紹介してもらい抱樸館熊本に入所しました」

――抱樸館熊本に入居されていかがでしたか。

「抱樸館熊本に入居する前は、何の目標もなく、抜け殻みたいな状態でした。入居した後もしばらくは抜け殻のような状態で、誰とも関わりを持たずに過ごしていました。しかし、抱樸館熊本での共同生活を過ごす中で、皆で食事を摂り、朝礼や終礼を通して、徐々に人との関わりをもてるようになりました。皆と一緒に過ごしていると『自分は一人ではない』と思えるようになりました。また、職員さんからの支援を受けることで、前向きに考えることができるようになり、自分が変わることができました。抱樸館に入居したことで、もう一度、自分自身の人生を見つめ直すとても良い機会となりました」

――いろんな方々と出会うことができたとおっしゃっていました。

「そうですね。抱樸館熊本には、感受性が豊かな方が多いと思います。今まで出会うことの無かった人たちばかりでした。職員の方たちも含め、抱樸館熊本に入らなければ、今の自分はいないと思います」

「ここで暮らしても良いと思うぐらい抱樸館熊本での生活は良かったですし、ここに出会わなかったら、自分はどうなっていたか想像がつきません。最初は何をしたら良いかも分からなかったけれど、自分の考えなどを活かしてくれながら、ある程度自由に無理なく過ごす中で、考える時間ができ、色々な方と話しをすることで次のステップに進むことができたことはとても良かったです」

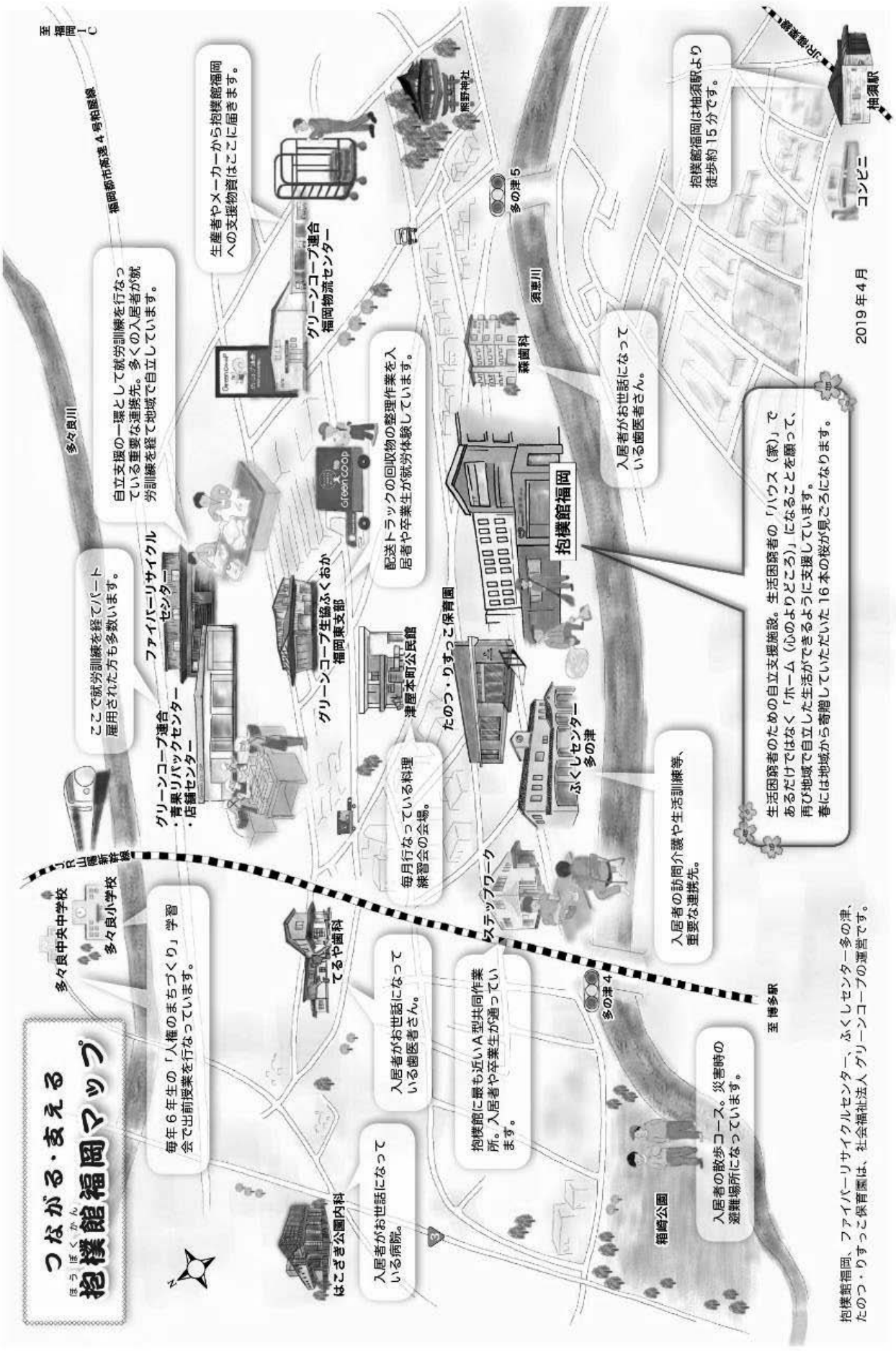
――抱樸館を退居後はどのようにされる予定ですか。

「おかげさまで、仕事も住む所も無事に決まりました。次は清掃の仕事ですのでこれまでと畑違いの仕事で不安もありますが、精一杯頑張っていこうと思っています」

――今後、何かやりたいことはありますか。

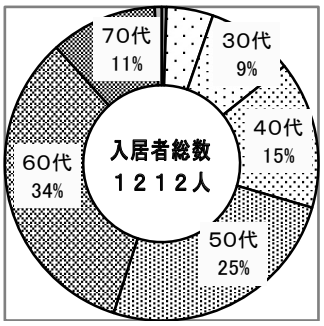
「仕事を頑張って、お金を貯めていきたいですね。後は、神社めぐりをしてみたいですね。今まで行ったことのない、色々な場所をみてみたいと考えています」

――ありがとうございました。これから頑張って下さい。


つながる・支える
抱樸館福岡マップ
ほうぼくかん
多々良中央中学校
多々良小学校
JR山陽新幹線
多々良川
福岡都市高速４号粕屋線
至 福岡ＩＣ
毎年６年生の「人権のまちづくり」学習会で出前授業を行なっています。
ここで就労訓練を経てパート雇用された方も多数います。
自立支援の一環として就労訓練を行なっている重要な連携先。多くの入居者が就労訓練を経て地域で自立しています。
生産者やメーカーから抱樸館福岡への支援物資はここに届きます。
ファイバーリサイクルセンター
グリーンコープ連合
・青果リパックセンター
・店舗センター
グリーンコープ連合
福岡物流センター
グリーンコープ生協ふくおか
福岡東支部
配送トラックの回収物の整理作業を入居者や卒業生が就労体験しています。
津屋本町公民館
毎月行なっている料理練習会の会場。
たのつ・りすっこ保育園
ステップワーク
ふくしセンター
多の津
入居者の訪問介護や生活訓練等、重要な連携先。
入居者がお世話になっている歯医者さん。
抱樸館福岡
入居者がお世話になっている歯医者さん。
抱樸館に最も近いＡ型共同作業所。入居者や卒業生が通っています。
入居者がお世話になっている病院。
入居者の散歩コース。災害時の避難場所になっています。
はこざき公園内科
てるや歯科
箱崎公園
多の津４
至 博多駅
多の津５
森歯科
須恵川
熊野神社
抱樸館福岡は柚須駅より徒歩約 15 分です。
JR福岡東線
柚須駅
コンビニ
2019 年 4 月
生活困窮者のための自立支援施設。生活困窮者の「ハウス（家）」であるだけではなく「ホーム（心のよりどころ）」になることを願って、再び地域で自立した生活ができるように支援しています。
春には地域から寄贈していただいた 16 本の桜が見ごろになります。
抱樸館福岡、ファイバーリサイクルセンター、ふくしセンター多の津、たのつ・りすっこ保育園は、社会福祉法人 グリーンコープの運営です。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から２０２０年２月末までの入居者数



	人数	割合
10代	6	0.5%
20代	58	4.8%
30代	108	8.9%
40代	183	15.1%
50代	307	25.3%
60代	407	33.6%
70代	134	11.1%
80代	9	0.7%
計	1212	100%

２０２０年２月末現在の入居者

６５人（定員８１名）　男性６４名、女性１名

２０２０年１～２月の新入居者数・退居者数

新入居者数１２名　　退居者数１１名

（注：２月末までの入居者数１２１２名は、
２度・３度入居した人も１名と数えています。）

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱 樸 館 を 支 え る 会 の 概 要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。
◇ホームレス者支援事業
◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日：抱樸館福岡が２０１０年５月に開設されるのにあわせて同年４月１０日に設立

正会員：以下の１７団体が正会員です。
グリーンコープの各単協（１４生協）
グリーンコープ連合会
ＮＰＯ法人 抱樸（旧：北九州ホームレス支援機構）
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

２０１９年２月末の賛助会員は、以下の通り

グリーンコープの共同購入組合員	９，３２７名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方	１６７名
企業賛助会員	１０４社

その他（抱樸館の所在地）

抱樸館福岡（福岡市東区）	２０１０年　５月開所
抱樸館北九州（北九州市八幡東区）	２０１３年　９月開所
抱樸館下関：新たに開設を準備中	
抱樸館熊本（熊本市中央区）	２０１８年１２月開所

抱樸館福岡の見学のご案内

（１）グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。
（２）個人もしくは知り合いと一緒に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。
◇出来れば５名以上でお願いします。（ホームページからも見学の申込が出来ます）

なお、１名あたり１０００円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

抱樸館を支える会　賛助会員と会費について

抱樸館を支える会　賛助会員募集

賛助会員を募集しています。
賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組合員

賛助会員の申込には２つの方法があります。

①毎月２５０円の賛助会費を申し込みいただく（年間で３０００円です）

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の**１３００**で申し込みください。

②１口１０００円の賛助会費を申し込みいただく。何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。
共同購入申込書の**１２９９**で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。（グリーンコープの共同購入組合員の場合）

①の賛助会員は毎月継続して２５０円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組合員

１口１０００円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替　01710-0-123003
一般社団法人　抱樸館を支える会

企業賛助会員　募集中です

企業賛助会員は、会費が１口１０，０００円です。出来れば３口（３０，０００円）以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前１丁目５番１号
社会福祉法人グリーンコープ内
電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡　（電話 092-624-7771　FAX 092-624-7772）
〒813-0034　福岡市東区多の津５丁目５－８
抱樸館北九州（電話 093-883-7708　FAX 093-883-7705）
〒805-0027　北九州市八幡東区東鉄町７－１１
抱樸館熊本（電話 096-245-7521　FAX 096-245-7522）
〒860-0811　熊本市中央区本荘